

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名				
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名				
		H30決算額(円)	3	妥当性評価				
		内 直接事業費	4	有効性評価				
内 人件費	5	効率性評価						
学校教育の充実	教育委員会及び教育委員会事務局の円滑な運営を図る。教育委員会は、「学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を行う」ために設置された行政委員会である。	5,346,041	事務事業評価		開かれた教育行政運営のため、ホームページ等への教育委員会の会議内容の掲載を速やかに行う。	教育委員会の会議内容を、速やかにホームページに掲載するよう心がけ実行した。	教育行政に対する市民や保護者の期待に応えるため、教育に関する現状と課題の把握に努めるとともに、市民の理解が深まるように情報発信の工夫に努める。	
50101010		3,052,964	1	教育部 教育総務課				
教育委員会運営事務		2,293,077	2	伊藤 英洋				
		7,940,978	3	高い				
		2,948,516	4	普通				
4,992,462	5	普通						
学校教育の充実	小規模校の適正化と津波への防災対策を図り、適正な学級規模を確保することで、児童・生徒の切磋琢磨を促し、一人一人の個性の伸張を図る。	6,758,270	事務事業評価		・平成26年12月に学校全体配置計画を策定。児童数120人未満の10小学校、生徒数120人未満の3中学校を対象に学校再編を検討。 ・和地・堀切・伊良湖小が平成27年4月に統合して伊良湖岬小学校として開校。 ・野田中学校が平成28年4月から田原中学校に統合。	・学校全体配置計画を見直すため、学校未来創造計画検討委員会の開催し素案を作成 ・伊良湖岬中学校統合準備委員会の開催し、平成31年4月から福江中学校と統合 ・泉中学校統合準備委員会の開催	・令和元年度に策定した学校未来創造計画に沿って、小中学校の適正規模・配置や小規模校の充実策、中長期を見据えた学校施設の長寿命化対策などを行っている。 ・泉中学校の統合準備委員会を開催し、スムーズな統合を目指す。	
50101020		568,323	1	教育部 教育総務課				
小中学校再編事業		6,189,947	2	伊藤 英洋				
		9,819,738	3	極めて高い				
		2,326,811	4	高い				
7,492,927	5	普通						
学校教育の充実	教育基本法の趣旨にのっとり、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興のため、一人一人の児童生徒に応じた教育の充実を図るとともに、地域の魅力を生かした学校教育の充実を図る。	53,137,174	事務事業評価		支援の手法検討、活動成果の評価方法の検討、指導主事の受入人数の検討(教職員全体の受入人数の妥当性)等支援手法について引き続き検討する。	「教員の児童・生徒と向きあう時間の創出」、「学校経営の効率化」を図るため平成28年度に導入した校務支援システムについて、サポート業務の委託により効率的な運用が図られた。	支援の手法検討、活動成果の評価方法の検討、指導主事の受入人数の検討(教職員全体の受入人数の妥当性)等支援手法について引き続き検討する。	
50101030		52,078,062	1	教育部 教育総務課				
義務教育振興事業		1,059,112	2	伊藤 英洋				
		68,055,734	3	高い				
		67,778,496	4	普通				
277,238	5	普通						
学校教育の充実	児童生徒の各種大会への参加を支援することにより、体育的及び文化的活動を通じた交流による教育的効果の向上を図るとともに、選手派遣に伴う保護者負担の軽減を図る。	16,425,376	事務事業評価		児童生徒が高水準な体育的・文化的活動へ積極的に参加することにより、知識及び技術の向上を支援する。参加費、旅費等の保護者負担が増大することが課題である。	事業対象が大会参加選手のみであったが、部活動全体を事業対象としたことにより、幅広く児童生徒の知識及び技術の向上が図られた。	児童・生徒の各種大会参加支援に伴う、保護者負担を引き続き軽減するとともに、借り上げバスや公共交通機関を利用した移動手段を検討し、単位コストの縮小を図る。	
50101040		16,177,273	1	教育部 教育総務課				
部活動奨励事業		248,103	2	伊藤 英洋				
		15,619,835	3	高い				
		15,320,617	4	普通				
299,218	5	普通						
学校教育の充実	小学校(18校)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の長寿命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、児童の安全・安心を確保する。	308,385,394	事務事業評価		学校施設の長寿命化計画を策定し、建設から40年以上経過し老朽化している施設の長寿命化を図るとともに維持管理経費の縮減及び平準化に繋げる。	童浦小学校の屋内運動場非構造部材改修工事の実施により、地震発生時の児童に対する安全性が高まった。 夏場の熱中症対策として普通教室への空調設備設置工事設計業務を実施。	令和元年度に策定した学校未来創造計画(長寿命化計画)に基づき計画的に施設の長寿命化改修を実施し適切な維持管理に努める。 また、普通教室への空調設備設置やトイレの洋式化により児童・生徒の教育環境向上に努める。	
50101050		233,702,495	1	教育部 教育総務課				
小学校管理運営事業 (50101050, 50101090～50101280)		74,682,899	2	伊藤 英洋				
		442,008,856	3	高い				
		384,086,057	4	高い				
57,922,799	5	普通						
学校教育の充実	児童及び教職員用のコンピュータ環境を整備し、コンピュータを活用することにより、児童一人一人の学習に対する興味関心を高め、学習指導の個別化を図りながら資料活用能力を育成するとともに、教職員等の管理運営の情報化を推進する。	82,922,702	事務事業評価		児童生徒の情報教育環境・教育効果の向上の観点にたち、計画的なパソコン更新が行えるよう、取り組んでいるが、効率性(コスト削減)を検討する必要がある。	年数の経過したパソコンを使用することにより、修理代等の保守料の経費割合は、全体予算の中でも比較的高めである。 Windows7のサポート切れに伴う次年度パソコンの大量更新に合わせ、学校教育課及び学校と連携しタブレットパソコンの導入を検討。	文部科学省の「教育の情報化ビジョン」を踏まえ、教科や教室を問わず活用できるタブレットPCの導入等、ICT環境の変化に対応した整備を進める。	
50101060		80,282,671	1	教育部 教育総務課				
小学校情報教育整備事業 (50101060,50101300)		2,640,031	2	伊藤 英洋				
		60,236,820	3	高い				
		57,141,063	4	高い				
3,095,757	5	普通						
学校教育の充実	経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等、学校にかかる費用の一部を援助する。	27,472,920	事務事業評価		社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、認定基準、給付費目、給付方法の検討を引き続き行う必要がある。	近隣市を参考に、社会情勢に応じた給付を適正に行った。電算リストを活用し、事務の効率化を図った。	社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、給付費目、給付方法等の検討を引き続き行う。	
50101070		25,099,992	1	教育部 教育総務課				
小学校教育扶助事業 (50101070,50101310)		2,372,928	2	伊藤 英洋				
		26,612,856	3	極めて高い				
		24,835,474	4	極めて高い				
1,777,382	5	普通						
						改善の効果	普通	

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名			
		H30決算額(円)	3	妥当性評価			
		内 直接事業費	4	有効性評価			
		内 人件費	5	効率性評価			
学校教育の充実	中学校(6校)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の長寿命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、生徒の安全・安心を確保する。	217,974,795	事務事業評価		学校施設の長寿命化計画を策定し、建設から40年以上経過し老朽化している施設の長寿命化を図るとともに維持管理経費の縮減及び標準化に繋げる。	平成31年4月に伊良湖岬中学校と統合した福江中学校の教育環境向上のため校舎等改修工事を実施。 夏場の熱中症対策として普通教室への空調設備設置工事設計業務を実施。	令和元年度に策定した学校未来創造計画(長寿命化計画)に基づき計画的に施設の長寿命化改修を実施し適切な維持管理に努める。 また、普通教室への空調設備設置やトイレの洋式化により児童・生徒の教育環境向上に努める。
50101290		189,547,033	1	教育部 教育総務課			
中学校管理運営事業 (50101290,50101330～50101390)		28,427,762	2	伊藤 英洋			
		341,113,325	3	高い			
		313,765,115	4	高い			
	27,348,210	5	普通				
学校教育の充実	一人一人の児童生徒に応じた教育を充実させるために、必要な人材を配置する。 ・児童生徒が地域に親しむために、地域の環境や人材を生かした教育活動を推進する。	109,268,185	事務事業評価		一人一人の児童生徒に応じた教育を充実させるとともに、子供のキャリア発達を促していく必要がある。 ・児童生徒が自ら考え学習する力を育成するための教育環境を整備する必要がある。	・児童生徒一人一人に対応したきめの細かい学習を保障するため、授業に関わる人員を増員し、質の高い授業を行う。 ・発達障害のある児童生徒等への支援を厚くするため、学習支援員等の増員を行う。	・児童生徒一人一人に対応したきめの細かい学習を保障するため、授業に関わる非常勤講師の人員の充実を図り、質の高い授業を行う。
50102010		60,223,705	1	教育部 学校教育課			
学校教育推進事業		49,044,480	2	渡邊 宏光			
		101,680,594	3	極めて高い			
		40,486,341	4	極めて高い			
	61,194,253	5	高い				
学校教育の充実	・児童生徒が英語に慣れ、国際理解を深めるために、外国青年語学講師(ALT)を中学校に派遣する。 ・英語に親しみ英語を通したコミュニケーションの素地を養うために、外国語指導助手を小学校5・6年の英語活動の時間に派遣する。	31,020,954	事務事業評価		・ALT4人体制で市内全小中学校に派遣している。地域の英語の堪能な方を外国語指導助手として9人雇用し、市内全小学校へ派遣し、英語活動の充実に努めている。 ・小学校の英語活動において、教科化を見据えた指導方法の充実を図る必要がある。	・指導主事による学校巡回を行い、指導助言を行うことで、外国語指導助手の資質向上とチームティーチングの改善を図った。 ・年3回の外国語指導助手研修を行い、指導方法等を共有することができた。	・平成32年度からの小学校英語の教科化に対応するため、教材の開発や指導方法の研修等を充実していく。 ・英語教育の一層の充実を図るため、実践的な研修の機会を増やしていく。 ・外国語教育推進コーディネーターを配置し、どの学級でも同じレベルで学習が進むようにする。
50102020		25,934,943	1	教育部 学校教育課			
国際理解教育推進事業		5,086,011	2	渡邊 宏光			
		38,541,858	3	高い			
		31,928,387	4	極めて高い			
	6,613,471	5	高い				
学校教育の充実	アメリカ・ジョージタウン市とギブソン郡及びプリンストン市、中国・昆山市、韓国・銅雀区との中学生の派遣と受け入れを通して、国際交流を推進する。	6,618,621	事務事業評価		・アメリカ・ジョージタウン市とアメリカ・ギブソン郡及びプリンストン市とを隔年で交流事業を行っている。 ・中国・昆山市と韓国銅雀区との交流は現在休止している。 ・多くの中学生が交流に関わることができるように工夫する必要がある。	・海外交流の実施について、各学校にアンケート調査を行い、より効果的に事業が展開できるようになった。	・学年・全校生徒に交流が広がるように、各中学校での取組を積極的に知らせる。 ・校内での報告会をより工夫する。 ・掲示板等を活用し、国際交流コーナーを設置する。 ・市の国際交流部門と統合することで、市民の交流意識を高めるとともに、中学生の経験を市民全体へ広げたい。
50102030		3,120,812	1	教育部 学校教育課			
中学生海外交流事業		3,497,809	2	渡邊 宏光			
		7,044,199	3	高い			
		3,385,821	4	極めて高い			
	3,658,378	5	普通				
学校教育の充実	不登校児童・生徒、悩みを抱えた児童・生徒に対し、学校・家庭等との連携を図りながら、きめ細かな相談や指導及び助言を行う。中学校における相談や小学校における個別指導などの教育活動を支援する。	22,129,850	事務事業評価		・前年度に比べ、小中学校における不登校生徒が増加した。一方、教育相談等相談支援活動の件数は増えており、必要性が増してきている。 ・悩みを抱えた児童生徒数は増加しており、問題行動につながる事が多く、心のケアを必要としている。	・組織の改善を行い、各担当ごとの役割の明確化と連携の強化を図った。職員が今まで以上に動きやすくなり、教育サポートセンターとしての機能が高まった。	・教育相談、カウンセリングについての要望が多く、時間数の増加や直接相談に出かける巡回活動を充実させ、不登校をゼロをめざす。
50102040		7,294,823	1	教育部 学校教育課			
教育サポートセンター事業		14,835,027	2	渡邊 宏光			
		21,886,694	3	極めて高い			
		7,098,047	4	極めて高い			
	14,788,647	5	高い				
学校教育の充実	教職員の資質及び指導力の向上を図るために、適時に研修を行う。校内での現職研修を充実させるために研修委託を行う。研究指定校や教育課題研究校による教育活動の研究推進を支援する。	12,915,130	事務事業評価		・教職員には、常に指導力の向上が義務付けられている。最新の教育について研究を進めるとともに、広く内容を周知することで、各校の研修を進める必要がある。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱を受け、実践研究を進めた。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進した。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱を積極的に受け、実践研究を進める。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進する。 ・求められる新しい教育に向けて、教員の資質向上を目指した研修を進める。
50102050		3,848,708	1	教育部 学校教育課			
教員研修事業		9,066,422	2	渡邊 宏光			
		12,930,964	3	高い			
		3,296,300	4	高い			
	9,634,664	5	高い				
学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、小学校18校の児童及び小学校教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	23,678,860	事務事業評価		・児童及び小学校教職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	・悉皆調査を行うことで、疾病の早期発見、予防ができた。	・悉皆検査を行い、疾病の早期発見・予防に努め、健康管理を図る。
50102060		21,260,671	1	教育部 学校教育課			
児童・職員健康管理事業		2,418,189	2	渡邊 宏光			
		23,990,818	3	高い			
		21,800,804	4	高い			
	2,190,014	5	高い				

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名			
		H30決算額(円)	3	妥当性評価			
		内 直接事業費	4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価					
学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい心、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく児童を指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	5,466,662	事務事業評価		・道徳における地域素材を扱った教材及び言語活動充実のための教材が学校現場で求められている。	・明るい心及びことばのきまりの補助教材や、教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく児童に指導することができた。	・明るい心、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を引き続き購入し、効率よく児童の指導を進める。
50102070		4,684,716	1	教育部 学校教育課			
小学校教材購入事業		781,946	2	渡邊 宏光			
		1,350,048	3	普通			
		642,125	4	高い			
707,923	5	普通					
学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、中学校6校の生徒及び中学校職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	17,015,363	事務事業評価		・生徒及び中学校職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	・悉皆調査を行うことで、疾病の早期発見、予防ができた。	・悉皆検査を行い、疾病の早期発見 予防に努め、健康管理を図る。
50102080		14,597,174	1	教育部 学校教育課			
生徒・職員健康管理事業		2,418,189	2	渡邊 宏光			
		17,301,928	3	高い			
		15,111,914	4	高い			
2,190,014	5	高い					
学校教育の充実	学校・家庭・地域が信頼関係を深め、協力して子供の教育に関わることを通して地域の絆を深め、生きる力を育むことができるように、子供の教育に関わる体制を構築する。学校・家庭・地域が連携した事業を充実させ、次世代を担う人材育成に取り組む。	35,433,483	事務事業評価		地域とともにある学校づくりを推進していくため、地域学校協働本部を設置し、学校・家庭・地域が連携した事業を実施。学校支援だけでなく、地域の問題を解決したり将来の田原市を担う人材育成につなげていくことを視野に入れ、地域との協働による事業を実施することが必要。推進していくためには取組について周知していく必要がある。	実施している事業について報道機関等に投げ込みをするなどして広報に力を入れた。また、事業の内容や効果などをまとめた冊子やリーフレットを作成し地域や学校に配布した。学校と地域が連携した事業の周知が図られるとともに、関わっている人の意識の高揚も図ることができた。	「地域の大人から子供も学ぶ」、「教えることにより大人が学ぶ」という2つの視点をもって事業を進めていく。子供や地域等が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくりや地域活性化につなげる取組を行い、人材育成、地域活性化、共育推進につながる体制の構築を進めていく。
50102090		23,395,159	1	教育部 学校教育課			
共育推進事業		12,038,324	2	渡邊 宏光			
		36,606,469	3	極めて高い			
		24,579,253	4	高い			
12,027,216	5	高い					
学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい人生、中学生の学級活動、図説新中学校体育実技、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく生徒に指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	4,435,421	事務事業評価		・道徳における地域素材を扱った教材及び学級活動や体育指導のための教材が学校現場で求められている。	・明るい人生、中学生の学級活動、図説新中学校体育実技、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく生徒を指導することができた。	・明るい人生、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を引き続き購入し、効率よく生徒を指導する。
50102490		3,653,475	1	教育部 学校教育課			
中学校教材購入事業		781,946	2	渡邊 宏光			
		2,912,779	3	普通			
		2,204,856	4	高い			
707,923	5	普通					
学校教育の充実	伊良湖岬中学校跡地等に新たな伊良湖岬小学校の校舎を整備し、教育環境の向上を図る。	260,934,574	事務事業評価		実施設計及び拡張用地の取得完了し、次年度から伊良湖岬中学校の解体工事及び伊良湖岬小学校の建築工事を実施予定。	次年度からの建築工事実施に向け、実施設計及び用地取得を実施。	令和3年9月の開校に向け着実に事業を実施していく。
50103030		254,026,226	1	教育部 教育総務課			
伊良湖岬小学校整備事業		6,908,348	2	伊藤 英洋			
		89,414,335	3	高い			
		83,175,000	4	普通			
6,239,335	5	普通					
学校教育の充実	給食センターの維持管理・運営を行い、給食を実施することにより、園児・児童・生徒の食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養い、合理的な栄養摂取による健康増進を図る。	744,037,993	事務事業評価		・安心・安全なおいしい給食を提供していく。 ・残食率の低減に努める。 ・地元食材の使用率は、大きくは伸びないと考えられるが工夫をしていく。	・残食率を低減させるため、献立内容、組み合わせ、提供量等を検討し、献立に反映したが、残食率は、平成29年度1.16%から平成30年度1.29%に、やや上昇した。 (県内平均残食率4.9%)	・安心・安全なおいしい給食を提供していく。 ・引き続き残食率の低減または現状維持に努める。 ・地元食材の使用率は、給食で使用できる新たな食材を探し、献立に取り入れられるよう検討する。
50104020		710,968,487	1	教育部 教育総務課			
給食センター運営事業 (50104020,50104170)		33,069,506	2	伊藤 英洋			
		738,968,812	3	極めて高い			
		706,924,751	4	高い			
32,044,061	5	普通					
学校教育の充実	私立高校生の保護者の負担を軽減するため、授業料の一部を補助する。また、田原市奨学金制度は、田原市立中学校を卒業し、学業・人物ともに優れ、経済的に困難な生徒に田原市奨学金を支給し、高等学校への就学を支援する。	2,435,869	事務事業評価		公立高等学校と私立高等学校間における保護者負担の格差は正及び経済的理由により進学が困難な生徒の保護者の負担軽減。	近隣市町と比較検討し、本市の状況にあった必要な補助を行い、保護者の負担軽減に寄与した。	国、県制度の動向及び他市町の状況を把握し、公立高等学校との整合性を保ち、本市の状況にあった必要な補助が行えるよう、助成額、補助基準等の検討を引き続き行う。 市内在住の高校生が通学に使用するバス定期券の補助を行い、子育て支援・バス利用促進を図る。
50105010		1,956,000	1	教育部 教育総務課			
高等学校生徒支援事業		479,869	2	伊藤 英洋			
		2,427,510	3	高い			
		2,112,000	4	普通			
315,510	5	普通					

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名			
		H30決算額(円)	3	妥当性評価			
		内 直接事業費	4	有効性評価			
	内 人件費	5	効率性評価				
生涯学習の充実	社会教育審議会を開催し、社会教育事業について提言や助言を受け、方針や計画に反映させる。人権擁護を推進するため田原人権ファンクション委員会を支援する。	10,080,578	事務事業評価		社会教育審議会 2回開催 生涯学習情報誌 年2回発行 障害者人権擁護推進業務を人権ファンクション委員会に委託	社会教育審議会で生涯学習振興計画の進捗状況を報告している。 生涯学習情報誌は、市民館や公共施設に配布したり、ホームページで情報の提供を行った。	田原市生涯学習振興計画を基に社会教育の推進を図る。
50201010		2,743,606	1	教育部 生涯学習課			
社会教育推進事業		7,336,972	2	森下 隼			
		10,203,947	3	高い			
		2,637,510	4	高い			
	7,566,437	5	高い		改善の効果	普通	
生涯学習の充実	市民の多種多様な学習要求に応えるため、講座等を開催し、市民の自主的な活動を促し、生涯を通して主体的に学び、心豊で生き生きと自立した人生を築く「きっかけづくり」を行う。また、仲間づくりを推進する。	8,346,731	事務事業評価		児童生徒文化体験教室、しおさい大学、市民カレッジなどを開催した。 市民カレッジの参加者が少なく、開催できない講座がある。	講座の周知を、前年度よりも多くの公共施設で行った。	多様な文化体験ができる環境があることを広く市民に周知していく。 様々な事業で個人の学びや知識などを活用する学びの還元システムを構築する。(ボランティア講師の登録制度の構築等)
50201020		1,181,647	1	教育部 生涯学習課			
生涯学習講座等開催事業		7,165,084	2	森下 隼			
		5,382,876	3	高い			
		1,126,989	4	普通			
	4,255,887	5	普通		改善の効果	普通	
生涯学習の充実	生涯学習及び地域コミュニティ活動の拠点として、市民が安心・安全で楽しく利用できるように、市民館の修繕・工事・備品購入等により施設整備を図る。	158,017,818	事務事業評価		地域により市民館の活用について差がある。また、建築後長い年数が経過した市民館が多く、修繕等が必要な施設・設備が多くなっている。	地域における生涯学習・コミュニティの拠点となるよう、運用しやすい体制を支援・検討し、あわせて必要な施設・設備整備に努めた。	令和元年度策定予定の社会教育施設適正化個別計画を元に、今後も地域の人・文化の交流、コミュニティ活性化の拠点として利用できるよう、計画的に施設整備を実施するとともに、主事研修など人的支援を着実に実施し、地域の活性化に資する。
50202010		104,415,148	1	教育部 生涯学習課			
市民館運営事業 (50202010,50202020)		53,602,670	2	森下 隼			
		149,112,518	3	高い			
		99,193,123	4	高い			
	49,919,395	5	普通		改善の効果	普通	
生涯学習の充実	江比間野外活動センターの利便性を図り、より多くの利用者に良質のサービスを提供できるよう施設の維持管理及び、運営を行う。(負担割合田原市50%、豊橋市50%)	24,837,774	事務事業評価		H30利用者数は9,239人であり、昨年度より微増となっているが、長期的には減少傾向にある。 施設の老朽化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	専門業者による設備機器の保守点検を実施した。	当施設は、昭和50年に竣工した施設で経年劣化などでより老朽化が進んでいる。適正な維持管理のため、計画的に改修・整備していく必要がある。
50202040		10,695,366	1	教育部 生涯学習課			
江比間野外活動センター運営事業		14,142,408	2	森下 隼			
		22,543,400	3	高い			
		10,727,265	4	高い			
	11,816,135	5	普通		改善の効果	普通	
生涯学習の充実	市民の生涯にわたる学習活動を、読書支援及び課題解決支援の観点から積極的に援助し、かつ、交流とコミュニティ活動の推進に寄与するため図書館の管理運営を行う。	161,249,801	事務事業評価		読書や図書館利用について、地域・年代等による格差が存在している。関連機関や団体と連携し、来館しづらい市民へサービスを提供する必要がある。電子化への対応と、地域課題の解決を支援するための図書館機能の更なる充実が求められる。	学校や高齢者施設等への貸出や利用が増加している。豊橋市図書館、豊橋技術科学大学等の文化・学術機関との連携や、NPOたはら広場、Code for MIKAWA等地域コミュニティとの協働が進んでいる。	生涯読書振興計画の次期計画の策定と評価手法を検討する。ふるさと教育を推進する。市内外の機関・団体と協働し、地域課題の解決に貢献するサービスやインターネット・オープンデータ等を活用したサービスを構築していく。
50203010		43,142,668	1	教育部 図書館			
図書館運営事業		118,107,133	2	是住 久美子			
		162,806,385	3	高い			
		51,976,661	4	高い			
	110,829,724	5	普通		改善の効果	普通	
生涯学習の充実	市民の資料や情報に対する要求に応え、中央図書館・赤羽根図書館・渥美図書館及び移動図書館いずみ号・やしの実号の資料の収集を行う。	56,748,238	事務事業評価		人口当たりの資料貸出数は全国的にトップレベルだが、減少傾向が続いている。多様化するニーズに応え、市民の課題解決に役立つ資料を揃え、利用につなげる方法の検討と、評価手法の見直しが必要である。	読書・学習・課題解決のニーズに応える資料を積極的に収集し、展示やアウトリーチサービスによる利用促進を図り、多数のリクエストに応えた。特に、学校、行政各部局・議会、高齢者施設等への資料提供を充実させた。	収集方針、選書基準に従い効率的・効果的な資料収集を行う。資料展示やブックリスト等の活用により利用促進につなげる。電子書籍などのウェブコンテンツを充実させる。学生、行政職員、高齢者、障害者等のセグメント毎のニーズを捉え、新たな価値を提供するサービスを実施する。
50203020		36,928,737	1	教育部 図書館			
図書館資料収集事業		19,819,501	2	是住 久美子			
		46,308,279	3	高い			
		30,632,439	4	高い			
	15,675,840	5	普通		改善の効果	普通	
スポーツの振興	指導者や激励金等、スポーツを行う環境の充実を図るとともに、市民のスポーツ意識を向上させる事業を行い、市内のスポーツ振興を図る。	32,168,654	事務事業評価		スポーツ推進委員を講師とした各地区での健康講座・出前講座の開催。 スポーツ推進計画の進捗管理。 スポーツ推進委員とスポーツ普及員との連携による市民のスポーツ意識の向上のための取組方が課題である。	スポーツ推進委員の活動内容の検討を行った。	スポーツ推進計画の進捗状況を把握し、計画の推進を図る。 スポーツだけでなく、健康増進や観光分野との連携により、市民のスポーツ意識の向上を図る。
50301010		12,021,359	1	教育部 スポーツ課			
スポーツ振興事業		20,147,295	2	粕谷 幸充			
		20,097,239	3	高い			
		9,989,011	4	高い			
	10,108,228	5	普通		改善の効果	普通	

施策名 事務事業コード	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の 課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)		
事務事業名		内 直接事業費	1 担当部課名					
		内 人件費	2 評価責任者氏名					
		H30決算額(円)	3 妥当性評価					
		内 直接事業費	4 有効性評価					
		内 人件費	5 効率性評価					
スポーツの振興 50303030	市民にスポーツ活動の場を提供し、優れた施設でスポーツに親しむために、施設の安定した維持管理を行う。	12,445,557	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・経年劣化や消耗による施設修繕を実施。 ・施設の利便性を図り、適切な管理運営を実施。(テニスコート照明灯修繕、テニスコート人工芝補修工事)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性を考え、計画的な修繕等を実施する。		
中央公園スポーツ施設運営事業		5,714,142	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		6,731,415	2 森下 隼					
		13,980,379	3 高い					
		5,736,758	4 高い					
	8,243,621	5 普通						
スポーツの振興 50303040	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	27,061,786	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・指定管理者(田原造園組合)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性を図り、適切な管理運営を実施。(食堂ホール空調修繕、センターハウス駐車場フェンス修繕工事、多目的グランド用土購入)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。		
緑が浜運動公園運営事業		24,565,366	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		2,496,420	2 森下 隼					
		27,941,498	3 高い					
		25,558,486	4 高い					
	2,383,012	5 普通						
スポーツの振興 50303050	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	14,777,291	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・指定管理者(田原区)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性を図り、適切な管理運営を実施。(テニスコート人工芝修繕、野球場放送設備取替工事、野球場防球ネット改修工事、多目的グランドベンチ上屋設置、多目的グランド用土購入)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。		
滝頭公園スポーツ施設運営事業		12,206,351	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		2,570,940	2 森下 隼					
		14,650,235	3 高い					
		12,267,223	4 高い					
	2,383,012	5 普通						
スポーツの振興 50303060	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	13,797,914	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・指定管理者(白谷区)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性を図り、適切な管理運営を実施。(陸上競技場管理事務所修繕工事)	市民が安全・安心して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。		
白谷海浜公園陸上競技場運営事業		11,003,414	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		2,794,500	2 森下 隼					
		13,566,964	3 高い					
		11,274,734	4 高い					
	2,292,230	5 普通						
スポーツの振興 50303070	市民にスポーツ活動の場を提供し、安心安全に利用できる施設を目指し、安定した維持管理を行う。	14,050,896	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるよう計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守業務を実施。 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施。(多目的広場照明設備点検修繕、トイレ修繕等) ・施設の利便性を図り、適切な管理運営を実施。(文化広場バターゴルフ場修繕)	施設全体の機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性も考慮に入れ、計画的な修繕を実施する。		
赤羽根文化広場運営事業		5,384,828	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		8,666,068	2 森下 隼					
		12,879,032	3 高い					
		5,232,136	4 高い					
	7,646,896	5 普通						
スポーツの振興 50303080	地域のスポーツ活動の場として重要な役割を担っており、広場の安定した維持管理を行う。	3,472,717	事務事業評価	・地域でのスポーツ活動の推進及び地域活動の場として、適切な管理及び運営を行っている。 ・利用者が安心して、快適に利用できるよう計画的な修繕等が必要である。	・地域自治会等への管理委託による適切な管理運営を実施。 ・経年劣化等による故障箇所の修繕を実施。(神戸運動公園防球ネット取替工事)	地域の方が安全に利用できる運動広場として、安定した維持管理を実施する。		
地域運動公園運営事業		2,567,018	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	普通
		905,699	2 森下 隼					
		4,943,943	3 普通					
		3,990,243	4 普通					
	953,700	5 普通						
スポーツの振興 50303100	総合体育館の利用者が安全で安心して快適に利用できるよう計画的な整備を行う。	0	事務事業評価	・経年劣化により屋上部分の防水機能が衰え、雨天時に建物内で雨漏りが発生するため、防水工事を行う必要がある。	・体育館の全面的な防水改修工事を実施。(総合体育館屋上防水改修工事)	中長期的な整備計画を策定して適切な維持管理に努め、利用者が安心・安全にスポーツを楽しめる施設整備を実施する。		
総合体育館整備事業		0	1 教育部 生涯学習課				改善の効果	高い
		0	2 森下 隼					
		70,835,076	3 高い					
		69,984,000	4 高い					
	851,076	5 普通						

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名			
		H30決算額(円)	3	妥当性評価			
		内 直接事業費	4	有効性評価			
		内 人件費	5	効率性評価			
スポーツの振興	渥美運動公園内のスポーツ施設を利用者が安全で安心して快適に利用できるよう、計画的な整備を行う。	105,101,799	事務事業評価		・安全で快適な利用を提供するため、施設の計画的な整備を行う必要がある。	・テニスコート4面をクレーコートから人工芝コートに改良する工事実施。 ・野球場照明施設を水銀ランプからLED照明に取替え工事実施。	中長期的な整備計画を策定して適切な維持管理に努め、利用者が安心・安全にスポーツを楽しめる施設整備を実施する。
50303110		104,473,800	1	教育部 生涯学習課			
渥美運動公園整備事業		627,999	2	森下 隼			
		70,434,328	3	高い			
		68,713,920	4	高い			
	1,720,408	5	普通		改善の効果	高い	
青少年健全育成	家庭・学校・地域などが連携し、地域活動を通して青少年の健全育成を推進し、機運の醸成を図る。青少年問題協議会、子ども若者支援地域協議会を開催し、青少年の非行防止及び若者の自立支援を行う。	13,575,739	事務事業評価		青少年問題協議会 2回開催 青少年健全育成推進協議会 2回開催 子ども・若者支援地域協議会 2回開催 子ども・若者総合相談窓口の相談件数 延べ496件 相談は、困難ケースが多く15～19歳が半数を占めている	子ども・若者総合相談窓口は、関係部署や関係機関、高等学校との連携を図り、支援を行った。青少年健全育成推進員は、小・中・高等学校との情報交換を行い、連携の強化を図った。	子ども・若者の支援ネットワークの構築を図り、支援の体制を整える。 青少年健全育成関係機関の連携体制を構築する。
50401010		5,136,550	1	教育部 生涯学習課			
青少年健全育成推進事業		8,439,189	2	森下 隼			
		11,842,447	3	高い			
		4,767,690	4	高い			
	7,074,757	5	普通		改善の効果	普通	
青少年健全育成	保護者等に対して家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭教育の重要性についての共通理解と意識を深め、家庭・学校・地域が連携して青少年健全育成を推進することにより、家庭教育力の向上を図る。	1,160,283	事務事業評価		中学校の実施が減少傾向にある。	講演会等の実施を通して、家庭教育の理解を深めることができた。	保育園等へ情報提供を行い、より充実した学習機会を提供する。 講演会を継続して行ってもらえるような環境を整え続ける。
50401030		780,200	1	教育部 生涯学習課			
家庭教育推進事業		380,083	2	森下 隼			
		980,067	3	高い			
		678,000	4	高い			
	302,067	5	普通		改善の効果	普通	
青少年健全育成	大人になったことの責任を自覚し、豊かな人間性を持った大人として活躍してもらうことを期待し、激励するために記念式典を開催する。	2,919,561	事務事業評価		新成人の代表で構成される実行委員会は市外に転出している学生が多い。実行委員が主体となり、式典内容を協議していくことが望ましいが、1度しか実行委員会を開催することができないため、例年同様の内容となっている。	式典開催の意義・内容・スケジュール等を協議した結果、ほぼ前回と同様の内容となった。	成人式実行委員会を開催し、より魅力ある式典にするため内容の検討を行う。
50401040		1,513,880	1	教育部 生涯学習課			
成人式運営事業		1,405,681	2	森下 隼			
		2,197,372	3	高い			
		1,552,963	4	高い			
	644,409	5	高い		改善の効果	普通	
芸術文化の振興	市民の芸術文化活動を振興するため、発表の場の提供や事業委託により意識の高揚を図り、芸術文化団体や市民グループ等の育成を支援する。	9,213,771	事務事業評価		文化協会の会員数や文化ホール事業が減少傾向である。	市民団体の企画を必要に応じてサポートしながら、コンサート等を開催した。 NHKと連携を取って、低コストで自主事業を開催した。	市民活動の自発的な企画・運営支援を継続的に行う。 事業者との連携事業を計画することで、経費縮減に努め、ホール事業の充実を図る。
50501010		3,879,924	1	教育部 生涯学習課			
芸術文化振興事業		5,333,847	2	森下 隼			
		5,307,295	3	高い			
		3,725,315	4	高い			
	1,581,980	5	高い		改善の効果	高い	
芸術文化の振興	生涯学習施設の拠点として重要な役割を担っており、施設の安定した維持管理を行う。	81,784,471	事務事業評価		・市民の芸術文化活動の活性化や意識の向上のため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるように計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守業務を実施。 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施。(排煙・換気窓開閉装置修繕工事、一階西通路屋根等防水工事、視覚障害者用誘導床タイル設置工事等)	施設全体の機能・性能劣化を防ぎ、利用者の利便性や財政状況を鑑み、計画的な修繕を実施する。
50503010		60,747,030	1	教育部 生涯学習課			
田原文化広場運営事業(50503050)		21,037,441	2	森下 隼			
		81,499,626	3	高い			
		60,287,335	4	高い			
	21,212,291	5	普通		改善の効果	普通	
芸術文化の振興	市民に文化活動の場を提供し、優れた舞台芸術に接するために、施設の安定した維持管理を行う。	22,606,681	事務事業評価		・市民の芸術文化活動の活性化や意識の向上のため、活動場所となる施設の適切な管理運営が必要である。 ・施設の長寿命化への対応として、利用者が安心して使用できるように計画的な整備が必要である。	・専門業者による設備の保守業務を実施。 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施。(文化会館屋根防水修繕、文化会館トイレ修繕、文化会館空調修繕)	施設全体の機能・性能、利用者の利便性も考慮し、今後は今年度策定予定の社会教育施設適正化個別計画を元に対応を進めていく。
50503020		16,963,936	1	教育部 生涯学習課			
赤羽根文化会館運営事業		5,642,745	2	森下 隼			
		19,853,684	3	高い			
		13,437,003	4	高い			
	6,416,681	5	普通		改善の効果	普通	

施策名		H29決算額(円)	事務事業評価				
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名			
事務事業名	事務事業の目的	内 人件費	2	評価責任者氏名	事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
		H30決算額(円)	3	妥当性評価			
		内 直接事業費	4	有効性評価			
		内 人件費	5	効率性評価			
芸術文化の振興	生涯学習の拠点施設として渥美文化会館(文化ホール・農村環境改善センター)の適正な管理運営を行う。	48,959,568	事務事業評価		施設及び設備の老朽化が著しく、機器の故障が発生している。経年劣化が原因で起こる故障に対しての修繕が、部品交換で賄えない機器もあるので、整備計画を生涯学習課と調整し、実施してゆく必要がある。	施設及び設備の修繕工事を行うとともに、保守点検等の維持管理を行うことで、利用者が安全に安心して利用できた。	施設及び設備等の老朽化を踏まえ、生涯学習課と調整をし、施設を稼働させるために絶対に必要な設備に順位をつけて、整備計画を整える。併せて今後の利用状況を予測し、利用者が安全に利用できるよう、施設及び設備の維持管理を適切に行う。
34,488,984		1	渥美支所 地域課				
14,470,584		2	前川 博久				
52,084,763		3	高い				
36,615,737		4	普通				
渥美文化会館運営事業		15,469,026	5	普通		改善の効果	普通
芸術文化の振興	茶華道、俳句、静坐愛好者等の利便性を図り、市民が安全に楽しく利用できるよう適正な管理を行う。	8,826,933	事務事業評価		30年度の年間利用者10,348人であり、茶華道の拠点施設として、文化の継承、学習機会を広く市民等に提供することができた。立礼席の利用者数はほぼ横ばいであるが、茶室等の利用者が減少した。	施設の適正な維持管理を行うため、引き続き指定管理者による管理を実施する。駐車場利用を目的として借地していた土地を返却した。	指定管理者による施設管理を引き続き実施し、より効果的な施設の維持管理を図る。近接する田原市博物館と連携した事業の展開を図る。指定管理者と綿密な連絡・報告体制をとり、適正な管理運営を行わせる。
50503040		8,708,368	1	教育部 文化財課			
池ノ原会館運営事業		118,565	2	増山 禎之			
		7,809,802	3	高い			
		7,696,959	4	高い			
	112,843	5	普通		改善の効果	普通	
芸術文化の振興	田原文化会館の施設整備を実施し、利用者が安心、安全な利用が出来るように努める。	0	事務事業評価		施設・設備の老朽化に伴い、利用実態に即した適切な施設の修繕、設備の更新を行っていく必要がある。	多目的ホール非構造部材の耐震改修工事を行った。併せて証明のLED化も行った。万が一の大地震の際も死者がでるような人的被害が起こる可能性がなくなり、安心して利用できるようになった。	今年度は文化ホールの非構造部材の耐震改修工事を行い、安心して利用できるようになる。今後は今年度策定予定の社会教育施設適正化個別実施計画を元に修繕等を進めていく。
50503050		0	1	教育部 生涯学習課			
田原文化広場整備事業		0	2	森下 隼			
		32,257,822	3	高い			
		32,130,000	4	高い			
	127,822	5	普通		改善の効果	高い	
文化財の継承	埋蔵文化財の保存・活用を図るため、出土資料の整理や台帳整備を行う。国、県と連携し貝塚群(川地貝塚等)の遺物整理、遺跡調査を実施する。公共工事等に伴う現地立会や現地調査を適宜実施する。	21,616,705	事務事業評価		公共工事や開発行為等に伴う埋蔵文化財調査・調整等が増加し、対応が困難となってきた。また、収蔵方法の検討や新たな収蔵施設への資料の移動が課題となっている。	国庫補助事業として貝塚群(川地貝塚等)の調査を実施した。埋蔵文化財資料整理・収蔵を行うための新たな施設(ふるさと教育センター)への資料等を移動するための準備作業を行うことができた。	計画的な埋蔵文化財資料の保管・整理、遺跡調査を引き続き推進する。また、成果について市民に還元できるように展示等に活用するとともに、収蔵方法、調査体制についても検討を進める。
50601010		2,269,681	1	教育部 文化財課			
埋蔵文化財調査事業		19,347,024	2	増山 禎之			
		19,015,847	3	高い			
		2,099,319	4	高い			
	16,916,528	5	普通		改善の効果	高い	
文化財の継承	文化財保護審議会活動による文化財保護の推進と文化財の啓発・啓蒙を図る。歴史資源の保全と市民の文化向上に資するため、文化財の適正な保護・保存を図り、史跡等の文化財の維持・管理並びに環境整備・補修等を行う。また、講座等の普及活動により、ふるさと学習の推進を図る。	8,223,270	事務事業評価		文化財保護を推進するため、必要に応じた文化財指定を進める。指定文化財等を積極的に調査し適正な管理を図る。地域文化を担う後継者の育成やふるさと学習の推進を図る。明確な文化財保存事業費補助基準必要。	文化財保護の中心的機関である文化財保護審議会から専門的指導を受けた。地域の歴史・文化を継承する目的で、出前講座や普及啓発資料等の活用等により、ふるさと学習の推進を図った。県史跡整備市町村協議会事務局として史跡公開促進事業(スタンプラリー)実施。	文化財保護の基軸となる文化財の指定を進めるため、指定文化財候補の調査を行う。指定文化財とするための調査を進める。広報やホームページ等を積極的に活用し、情報発信を継続的に行うことにより、文化財保護への市民の理解を深め、ふるさと教育を推進していく。
50601020		3,305,594	1	教育部 文化財課			
文化財保護事業		4,917,676	2	増山 禎之			
		9,960,950	3	高い			
		3,057,553	4	高い			
	6,903,397	5	普通		改善の効果	普通	
文化財の継承	地域文化の振興を図るため、華山会館の適正な管理運営を行う。	31,125,131	事務事業評価		中心市街地において唯一コンベンション機能を備えた施設であり、市民のニーズもあるため、施設の維持管理を適切に進めながら活用を図る必要がある。施設の老朽化が顕著になりつつあるため、施設の改修が課題である。	施設の適正な維持管理を行うため、引き続き指定管理者による管理を実施する。	指定管理者による施設管理を引き続き実施し、より効果的な施設の維持管理を図る。近接する田原市博物館と連携した事業の展開を図る。指定管理者と綿密な連絡・報告体制をとり、適正な管理運営を行わせる。
50602030		24,375,468	1	教育部 文化財課			
華山会館運営事業		6,749,663	2	増山 禎之			
		31,410,350	3	高い			
		24,320,268	4	高い			
	7,090,082	5	普通		改善の効果	普通	
文化財の継承	田原市博物館は重要文化財や重要美術品、田原藩関係資料等を収蔵しており、企画展、講座等の開催、平常展展示替、刊行物、民俗資料等の活用により、より多くの所蔵資料の展示公開を行う。	89,923,079	事務事業評価		H30年度入館者数:博物館12,697人(46人/日)、民俗資料館3,255人(12人/日)、渥美郷土資料館9,594人(31人/日)、企画展・特別展の開催(5本)を開催し、様々なテーマの展覧会を開催した結果、博物館・民俗資料館の入館者数が増加した。資料収集:購入5点、寄贈:119点、移管:2点。	時機を捉えた展覧会(豊川用水展、渡辺華山の神髄)や郷土ゆかりの作家(平井誠一展)をテーマとした企画展・特別展を開催し、入館者を増加させることができた。市内学校等依頼による授業講師等に対応して、ふるさと学習の推進を積極的に行うことができた。	さらなる入館者の獲得を目指し、引き続き幅広いテーマや年齢層を考慮した展覧会を実施する。ふるさと教育を引き続き推進するため学校連携や講座等を開催する。歴史・民俗・美術資料を再整理し、保存・活用を図る。次世代を担う学芸員の育成に取り組む。
50603010		51,489,497	1	教育部 文化財課			
博物館運営事業		38,433,582	2	増山 禎之			
		89,484,087	3	高い			
		47,368,174	4	高い			
	42,115,913	5	普通		改善の効果	高い	

施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果		令和元年度以降の 課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名					
事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名					
		H30決算額(円)	3	妥当性評価					
		内 直接事業費	4	有効性評価					
		内 人件費	5	効率性評価					
文化財の継承	施設の適切な維持管理を行うとともに、利用 者が安全で安心して利用しやすい運営に努 め、常設展示や刊行物により、所蔵資料の展 示・公開を行う。	12,690,612	事務事業評価		施設及び設備が、著しく老朽化している。利用 状況を踏まえ、施設及び設備の修繕や更新が 必要である。	予算の範囲内で、施設及び設備の修繕や保守 点検等の維持管理を行うことで、利用者が安全 に利用することができた。		今後の利用状況を検討し、利用者が安全に利用でき るよう、施設及び設備の維持管理を適切に行う。	
50603020		1,586,873	1	渥美支所 地域課					
渥美郷土資料館管理 事業		11,103,739	2	前川 博久					
		13,817,593	3	高い					
		2,977,118	4	普通					
		10,840,475	5	普通					
					改善の効果	普通			
文化財の継承	国指定史跡「吉胡貝塚」の考古文化遺産とし ての活用を図り、吉胡貝塚史跡公園(シェル マよしこ)の効率的な運営・管理を行って、広 く市民に歴史・文化の学習機会を提供する。	20,052,321	事務事業評価		H30年度入館者:5,860人(19人/日)、体験 学習参加者:7,154人(23人/日)であり、国指 定史跡吉胡貝塚の歴史文化の継承、学習機 会を広く市民等に提供しているが、利用者層に 固定化の傾向が見られ、学校等の団体利用も 減り(H29:28件→H30:18件)施設利用者数 が減少した。	積極的なPR活動を行うとともに、運営面でも体験 学習メニューの多様化を図り、課題となっている 利用者層の固定化を解消するように努めた。 入館者・体験学習参加者数が前年度に比べて 770名ほど減少した。 引き続き学校見学に積極的に対応した。		吉胡貝塚資料館では、展示替が無い中で、入館者・ 体験学習の参加者数を増やし、市外の利用者など、 新たな利用者の開拓やリピーターの獲得を進めるととも に、引き続き積極的なPR活動や小中学校への働きか け、広域における連携、体験学習メニューの多様化と 充実を図ることにより、安定的な利用者の確保に努め る。	
50603030		6,341,220	1	教育部 文化財課					
吉胡貝塚公園運営事 業		13,711,101	2	増山 禎之					
		12,743,813	3	高い					
		6,278,828	4	高い					
		6,464,985	5	普通					
					改善の効果	普通			